

合唱練習、佳境に入ってきました

10月16日の附中文化の日まで1週間。合唱練習に熱が入っています（担任も）。学年毎に各クラスの指揮者・伴奏者とランチミーティング（LM）を行い、それぞれの熱い思いを聞かせてもらいました。

私自身、最も好きな行事で、**本番までの取組に意味**があり、「響きあいの精神」を最も具現化した行事だと思っています。さらに嬉しいのが、**合唱練習で「縦のつながり」**が深まることです。私は、昼休みに各クラスの練習風景を見て回るのが大好きです。3年生が同じ団の1年生に合唱指導したり、1年生が3年生の練習を参観したり。このときの1年生の憧れの眼差しを見るのを楽しみにしています。

団別合唱発表会では、どの団も3年生の歌声は素晴らしく、さすがと思いました。この発表会で、「自分たちも先輩たちみたいになりたい」という1年生の発言がありました。

先輩への憧れの眼差しや発言。こうやって、**伝統は受け継がれていく**んだな、と実感する瞬間です。

どのクラスが優勝してもおかしくないほど、全クラス練習を頑張っています。是非、**県立劇場で生徒諸君の歌声を堪能し、豊かな時間**をお過ごしください。お待ちしております。



3年生とのLM



団別合唱発表会



3年生練習を参観する1年生

学校で「みずあかり」に取組みました

毎年恒例となっている。みずあかり。第20回となる今年は、**10月11日（土）12日（日）**に開催されます。→[詳細はこちら](#)

みずあかりの発起人は、本校同窓会の石原会長です。5月に生徒と保護者を対象に、地域づくりにかける思いを「**一隅を照らす**」という言葉に託して話していただきました。

お話に感銘を受けた**3年生有志**が、石原会長の指導のもと、探究活動として、みずあかりのオブジェ制作に取り組みました。さらに、**PTAでも希望**を募ったところ、約50人の方が参加され、ご家庭によっては生徒と共にオブジェを制作されました。

本来ならば、オブジェは、他の方が制作したものと一緒にして、灯りを灯します。ただ、今回は関係者の皆さまの新しい試みとして、PTA役員さんの協力のもと「**学校単位での展示**」ができることとなりました。

附属中学校の生徒と保護者と職員とで制作したオブジェを大きなツリーとして展示し、「響きあい」「熊大附中」の文字にも灯りを灯します。（校長教頭で彫りました）

展示場所は、**交通センター前の花畑広場NHK周辺で、18時に点灯**です。是非、附属中の灯りと幻想的な空間を観に、足を運んでください。



制作に携わった生徒と石原会長



希望保護者と生徒による制作

